

## 2023年度 事業報告書（抜粋）

### 1 概要

新型コロナウイルス感染防止のための対策は続き、社会情勢により物価が高騰している状況下で、利用者に対して安心したサービスを提供することができた。

人材不足の課題に対して、積極的な求人活動と職員紹介制度、派遣職員の活用により、人手不足を解消した。職員が働きやすい職場環境を実現するため、老朽化した施設備品の更新や改修を行い、快適な業務環境を整えました。また、ワークライフバランスの向上にも努め、柔軟な働き方を実現しました。

### 2 重点項目

#### (1) 稼働率向上による安定した収入の確保

1. 入所部門稼働率の目標数値 95%を設定したなか、平均94.6%（昨年95.0%）となり、目標値に近い稼働率を達成することができた。
2. 在宅部門の稼働率は、デイけやき 80.4%・デイ善哉 75.3%・すみれの花 97.3%・荒江の家 平均登録者数 13.9名となった。

#### (2) 設備及び備品の老朽化に対する更新

施設の安全性確保や利用者の利便性、働きやすい職場環境に配慮するため、下記の設備や備品等の更新を実施した。

1. たちばな2階食堂拡張工事
2. けやきブロック塀改修工事
3. なでしこ外壁補修工事
4. LED照明改修工事
5. けやきクロス張替工事
6. まきの木・なでしこ居室洗面台の補強工事

#### (3) 感染防止対策の徹底とサービスの継続

施設内でのコロナ感染が拡大したことがあったが、利用者と職員の安全を確保するとともに、限られた人員で継続的なサービス提供を実施した。

#### (4) 職員の適正配置と人材育成

1. 慢性的な人材不足が続くなか、外国人技能実習生（3期生6名）の受け入れ、有料紹介会社からの紹介で採用することができ、人材不足を緩和することができた。
2. 誠和会キャリアパス制度やオンライン研修を実施し、人材育成を図った。

### 3 児童福祉事業

#### (1) ひいらぎ保育園（企業主導型保育施設）

第2子以降保育料の無償化や病児保育の無償化制度が始まり、登録者や利用者が増加し、コロナの規制緩和で保護者参加型行事も増えた。英会話レッスンやリトミックを取り入れ、地域交流も深めている。

#### (2) ひだまりキッチン（子ども食堂）

毎月第2.4木曜日に学習支援と夕食を提供する。まずは職員スタッフが子ども食堂の業務に慣れ、参加者の定着を目指す。地域の人々への周知を試行錯誤しながら、子どもの居場所づくり支援事業に最善を尽くしている。

